

団体名：上関町スイセン研究会

活動名：「スイセンの里」の復活で“まちおこし”活動

会長 / 片岡栄志

所在地 / 熊毛郡上関町室津

活動紹介

活動の目的

半島・離島の町上関町では、海に面した傾斜地などで昔から「日本スイセン」の栽培が盛んでしたが、最近では栽培農家の高齢化により管理が行き届かなくなり、その栽培面積も減少してきました。

こうしたことから、「スイセンの里」を復活させるため、平成13年に地元の有志によりスイセン研究会を立ち上げ、計画的な生産と販売に向けた栽培技術等の勉強会を行うとともに、球根の掘り取り作業やその養成を行ってきました。掘り取った球根は、地域の交流拠点や道路沿線に植え付けを行い、「スイセンのまち上関」の実現に向けた活動を展開しています。

これまでの活動の様子（内容）

上関町では、平成12年から道路の拡幅工事や高齢化により管理ができなくなったほ場から球根を掘り上げる作業や、掘り上げた小さい球根を養成するなどの取り組みが地元有志により始まり、平成13年に水仙研究会が組織されました。

平成14年からは、球根の掘り取りや植え付けを手伝ってくれるボランティアとの体験交流活動、上関町観光協会と連携した上盛山展望台及び周辺地への植え付け環境整備活動、球根養成ほ場での摘み取り体験活動など新たな取り組みも始め、平成15年からは今まで学校だけで球根の掘り取りや栽培活動を行っていた上関中学校の生徒も体験交流活動に参加し、農業への理解促進を図っています。

平成16年には、光市（旧大和町）の「藤公の里ふるさと会」と連携し、広く都市農村交流の促進を図ることを目的に「藤公の里ふるさと会」が開催した“コスモスまつり”に参加し、スイセンの球根の販売活動を行いました。また、行政との連携では、上関町各地区で実施された「グリーン・ツーリズム資源点検活動」のワークショップに参加し、多くの地区住民との協働により「上関町花いっぱいマップ」を作成しました。

これまでのこうした取り組みを契機に、球根養成ほ場がある集落では今年から新たに中山間地域等直接支払制度に取り組むこととなり、農家・非農家との協働による農業農村の持つ多面的機能の発揮に向けた活動へ展開しようとしています。

活動の展望

今後もこうした活動を絶やすことなく、町をより多くの人たちとの協働で花いっぱいにし、「スイセンのまち上関」を実現して行きたいと思えます。また、この景観づくりを通じて、都市と農村の交流活動をさらに進め、元気あふれる「まちおこし」へ展開できればと考えています。



ボランティアとともに掘り取り



スイセン摘み取りイベント